





県民一人ひとりが「自分ごと」として取り組む

# 持続可能な沖縄の 発展を目指して

このままじゃ  
地球が危ない!!



## 推進方針を策定する背景

2015年9月の国連総会で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」(以下「2030アジェンダ」)が採択されました。「2030アジェンダ」は、経済、社会及び環境の三側面を不可分として調和させる統合的取組を目指しており、その中で、誰一人として取り残さない(leave no one behind)を基本理念とし、17のゴールと169のターゲットで構成される「持続可能な開発目標(SDGs)」が示されています。



## 推進方針の目的とビジョン

本県は、県民全体で共有する沖縄の2030年を目途とする将来像として「沖縄21世紀ビジョン」を策定しています。同ビジョンの基本理念及び将来像は、SDGsの基本理念や17のゴールなど重なるところが多いことから、本県では「沖縄21世紀ビジョン」の将来像の実現に向け、SDGsを推進し、新たな時代に対応した持続可能な沖縄の発展を目指します。



# 本県におけるSDGs推進の基本的な方向

## （基本的な方向）

- 「沖縄21世紀ビジョン」に掲げる将来像の実現に向け、SDGsを推進します。
- 「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の「基本施策」を推進方針の「基本施策」として位置づけるとともに、新たな課題への対応など、統合的な視点とバックキャストの視点から、関係部局の密な連携により、SDGsに関する施策を充実させます。
- 2022年から始まる新たな振興計画においては、SDGsの理念や施策等を盛り込みます。
- 各分野別計画等の推進においては、推進方針を踏まえるとともに、計画策定又は改訂等の際には、原則として、SDGsの要素を最大限反映することとします。

※統合的な視点：経済・社会・環境の三分野の関連課題との相互関連性・相乗効果を重視し、統合的に解決する視点  
※バックキャストの視点：目指すべき社会の姿から振り返って現在すべきことを考える視点

## （推進方針の期間）

- 推進方針の期間は、沖縄21世紀ビジョン基本計画の終了年である2022(令和4)年3月までとし、新たな振興計画の策定を踏まえ、その後の期間における推進方針を新たに策定します。

## （推進体制と方策）

### ● 沖縄県SDGs推進本部の設置

SDGs推進にあたり、知事を本部長とし、各部署局長で構成する「沖縄県SDGs推進本部」を設置し、全庁的にSDGsを推進します。同推進本部の下、関係部局の連携を促進し、統合的なSDGsの推進を目指します。

### ● 国との連携

国の「持続可能な開発目標(SDGs)実施指針」では、各種計画等にSDGsの観点を取り入れ、必要に応じた関係制度改革の検討や適切な財源確保に努めるとしています。SDGs推進にあたっては、これらの各種制度を活用する等、国と連携しながら効果的に施策を推進します。

### ● 市町村との連携

SDGsの全県的な展開においては、市町村との連携が必須であり、県の取組や県内外の動向などの情報共有や連携した取組等を促進します。

### ● フォローアップ

SDGsの各施策のフォローアップは、基本的に沖縄21世紀ビジョン基本計画に関するPDCAと一体的に行います。

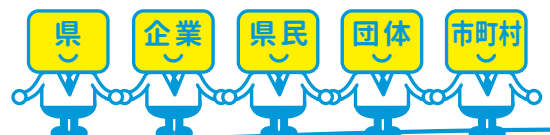
### ● ステークホルダーとの連携

沖縄県はSDGs推進の旗振り役として、自ら率先してSDGsを推進しながら、県民、企業、各種団体等との連携を促進していきます。SDGsの推進を全県的に展開するため、多様なステークホルダーの交流等を促進し、連携しながらSDGsを推進する体制を構築します。

### ● SDGsの普及啓発

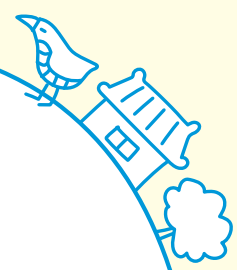
SDGsの普及啓発に取り組むとともに、県職員のSDGsに対する理解を深める取組や市町村に向けた取組を推進します。SDGsとの関連性が高いイベント等におけるSDGsの情報発信や刊行物、パンフレット等におけるSDGsのロゴや関連するアイコンを積極的な活用により、普及啓発に繋がります。県が自ら実施する普及啓発に加え、SDGsに取り組む企業や団体等とのパートナーシップによる普及啓発を推進します。

### パートナーシップ



# 沖縄県SDGs 推進指針における基本施策

## (沖縄21世紀ビジョン基本計画の基本施策)



将来像



沖縄らしい自然と歴史、  
伝統、文化を大切にする島

基本施策

- 1 自然環境の保全・再生・適正利用
- 2 持続可能な循環型社会の構築
- 3 低炭素島しょ社会の実現
- 4 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
- 5 文化産業の戦略的な創出・育成
- 6 価値創造のまちづくり
- 7 人間優先のまちづくり



将来像



心豊かで、安全・安心に  
暮らせる島

基本施策

- 1 健康・長寿おきなわの推進
- 2 子育てセーフティネットの充実
- 3 健康福祉セーフティネットの充実
- 4 社会リスクセーフティネットの確立
- 5 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決
- 6 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化
- 7 共助・共創型地域づくりの推進



将来像



希望と活力にあふれる  
豊かな島

基本施策

- 1 自立型経済の構築に向けた基盤の整備
- 2 世界水準の観光リゾート地の形成
- 3 情報通信関連産業の高度化・多様化
- 4 アジアと日本の架け橋となる国際物流拠点の形成
- 5 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
- 6 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出
- 7 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興
- 8 地域を支える中小企業等の振興
- 9 ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成
- 10 雇用対策と多様な人材の確保
- 11 離島における定住条件の整備
- 12 離島の特色を活かした産業振興と新たな展開
- 13 駐留軍用地跡地の有効利用の推進
- 14 政策金融の活用



将来像



世界に開かれた交流と  
共生の島

基本施策

- 1 世界との交流ネットワークの形成
- 2 国際協力・貢献活動の推進



将来像

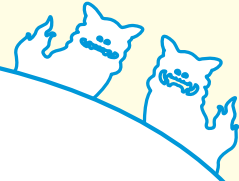


多様な能力を発揮し、  
未来を拓く島

基本施策

- 1 沖縄らしい個性を持った人づくりの推進
- 2 公平な教育機会の享受に向けた環境整備
- 3 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実
- 4 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
- 5 産業振興を担う人材の育成
- 6 地域社会を支える人材の育成





# 沖縄県は

エス・ディー・ジーズ

## SDGsを推進します。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### 沖縄県におけるSDGsの推進について

<https://www.pref.okinawa.jp/site/kikaku/chosei/kikaku/sdgs.html>



#### 沖縄21世紀ビジョン

<https://www.pref.okinawa.jp/21vision/index.html>



沖縄県

企画部企画調整課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2

電話番号：098-866-2026 FAX番号：098-866-2351



この印刷物は環境にやさしいベジタブルオイルインクを使用しています。

古紙パルプ配合率60%再生紙を使用

# SDGsの17のゴール



1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。



9. 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。



2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。



10. 各国内及び各国間の不平等を是正する。



3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。



11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。



4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。



12. 持続可能な生産消費形態を確保する。



5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。



13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。



6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。



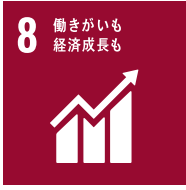
14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。



7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。



15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。



8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。



16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。



17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。